

■学長メッセージ



学長 坂本 禎智

皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎し、これからの皆さんの学修活動と成長を支援していきます。

本学は、「学校法人八戸工業大学」傘下の高等教育機関であり、本法人は、1956年に、地域の主産業である水産業のための無線通信技術者育成のために、八戸高等電波学校として開設されたことから始まります。その後、八戸周辺地域の工業地帯としての発展に伴い、その人材育成と研究開発の充実を図ることが必要となり、本学は、地域の大きな期待を背負って1972年に開設されました。当初、工学部3学科でスタートしましたが、地域産業の拡大と地域社会の要請に応えるために、学部・学科の増設、大学院の新設を経て、現在、工学部、感性デザイン学部の2学部6学科、大学院工学研究科3専攻を有する大学として成長してきました。私立大学では、北東北で唯一の大学院工学研究科博士前期・博士後期課程を有する大学へと発展してきており、これまでに修士494名、博士57名が修了し、様々な分野、地域、場所で社会の発展を支える人材として活躍しています。

本大学院は、本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」に則り、「学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を極めるとともに、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的としています。博士前期課程では、「広い視野に立って精深な学識を受け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要的能力およびその基礎となる学識を養うこと」、博士後期課程では、「専攻分野について研究者として自立して研究活動を行いまたはその他の高度に専門的な業務に従事するのに必要の高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うこと」を教育研究上の目的として設定しています。

この目的に則り、本大学院では、様々な講義、演習、研究を通じて、自然科学の理解や専門基礎力・高度応用展開能力の育成、境界領域を総合するシステム思考の育成、並びに社会の変化に対応できる柔軟な思考力、総合的な判断力、豊かな人間性を育むための教育など多様な教育を実施しています。

本大学院工学研究科は、機械・生物化学工学専攻、電子電気・情報工学専攻、社会基盤工学専攻の3専攻で構成されており、各専攻では、メカトロニクス、バイオ、エネルギー、IT、ロボティクス、環境、インフラ、防災などの多種多様な分野において、社会が抱える課題の解決や地域社会の要請に応える幅広い研究が行われています。皆さんは、その研究活動を通じて、より高度な専門性を身に付けるとともに、産官学連携活動なども含めて学内外において多くの人的交流を深め、視野の広い豊かな人間性も身に付けて欲しいと願っています。変化の激しいこれからの時代を自ら切り拓き、新しい分野への展開を積極的に推し進めていける積極性のある人材に成長することを期待しています。